

両津港緑地の民間活力導入に向けた公募型サウンディング調査

実施結果概要

県では、両津港緑地のポテンシャルを最大限に活かすため、みなと緑地 PPP（官民連携）を進めることとしておりますが、事業の検討にあたり、民間事業者の皆様の関心や参入意欲を把握するとともに、参画しやすい条件について意見収集することを目的として、公募型サウンディング調査を実施しましたので、その結果をお知らせします。

1 サウンディング調査のスケジュール

- ・実施要領の公表 令和 8 年 5 月 27 日（水）
- ・サウンディング申込書の受付 令和 8 年 5 月 27 日（水）～令和 8 年 6 月 10 日（水）
- ・サウンディングシートの受付 令和 8 年 5 月 27 日（水）～令和 8 年 6 月 17 日（水）
- ・個別対話の実施 令和 8 年 6 月 29 日（月）～令和 8 年 7 月 3 日（金）

2 サウンディングの参加者

参加事業者数：8 団体

3 サウンディング結果の概要

対話の対象項目	対話概要
施設・事業に関する提案	にぎわい創出と活性化については、以下のような提案がありました。 ・「佐渡の食や一次産業の魅力」をアピールできる飲食・物販施設や道の駅機能 ・島内回遊や滞在を促進する宿泊施設（ホテル、トレーラーハウス等） ・地域住民も日常利用・交流できるコミュニティスペースやイベント広場 ・映像技術等を活用したデジタル観光体験施設（ミュージアム・シアター等） ・利便性を高める 24 時間対応インフラ（無人シャワー・ランドリー、カーシェア等）
県への主な意見	県に対しては、以下のような意見がありました。 ・近年の建設コスト高騰を踏まえ、事業継続が可能な貸付料を設定してほしい。 ・参入の障壁を減らすため、借地期間満了後の返還条件を緩和してほしい。 ・近接する公的施設（あいぽーと佐渡）との一体運用を進める工夫を行ってほしい。 ・パートナーとなる事業者間のマッチング・協業を促す仕組みを検討してほしい。 ・十分な準備期間を確保できるよう、公募スケジュールに配慮してほしい。

4 サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回の「サウンディング調査」では、飲食・物販、宿泊、デジタル・観光体験施設等のにぎわい創出や活性化に資する多様な施設の提案と、事業継続性や効果的な官民連携の在り方等に関する県への貴重な意見がありました。

県では今回の対話を通じ、両津港において「島内外の人が集う複合的な商業・観光・宿泊機能等」のニーズが市場にあることを確認いたしました。

今後、本調査の結果を踏まえて、提案の実現に向けた課題等を整理し、公募実施に向けた要件整理を進めてまいります。

5 その他

今回のサウンディング調査の参加事業者のうち、下記5団体（個別対話実施順）が企業間連携を希望しています。コンソーシアムの形成や新たな事業立案の一助としていただくため企業名等を公表いたしますので、連携に関心のある事業者様は直接各団体へご連絡ください。（※県は一切の仲介を行いません。）

企業名	担当者名	連絡先	連携を希望する内容
株式会社ヴァーテックス	—	—	—
NTT ME 株式会社	斉藤 隼也	03-5359-0459 junya.saitou.wk@east.ntt.co.jp	PPP・PFIの協力企業として情報通信を活用したデジタル化及び防災力強化に向けたトレーラーハウス事業のご案内が可能。
イオンモール株式会社	松坂 和輝	043-212-6344	—
・一般社団法人 佐渡 MICE.net ・NPO 法人キラッと鬼太鼓島	川内 ゆかり	0259-58-7178 minato.oasis310@gmail.com	弊団体ではあいぽーと佐渡の緑地を活用した毎月のイベントや毎年の大型イベントの開催実績がございます。過去のイベント来場者の客層や集客の工夫、あいぽーと佐渡の緑地を基にした企画等幅広くお力添え可能です。 弊団体の希望としては、特に飲食施設や生鮮地場食品の販売といった分野に関して力を合わせていただける事業者様と連携したいと考えています。
株式会社アジアンドキュメンタリーズ	伴野 智	03-6820-2460 info@asiandocs.co.jp	東京に本社を置く弊社は、佐渡事業所を開設し、地域の歴史・文化を発信する映像制作会社です。デジタル観光体験施設の提案のほか、自社で継続製作する佐渡のドキュメンタリー映画の活用、最新CGや大型LEDによる空間演出・映像展示の企画制作から技術運営まで対応可能です。地元企業として地域活性化に貢献してまいりますので、ぜひお気軽にご相談ください。